【概要】 令和3年度　雫石町町民意識調査結果

第1章　調査概要

1. 調査目的

町の計画に対する、町民の意識の動向、町の施策、まちづくりに対する要望などを把握し、また、協働による住みよいまちづくりを推進していくための資料を取得する。

2. 調査内容

（1）調査地域　雫石町全域
（2）調査対象者　雫石町に在住する18歳以上80歳未満
（3）サンプル数　450人
（4）抽出方法　無作為抽出
（5）調査方法　町統計調査員
（6）調査期間　インターネット　R3.6.7～6.18
　　調査員による調査　R3.7.22～8.20
（7）回収数　399人（88.6%）

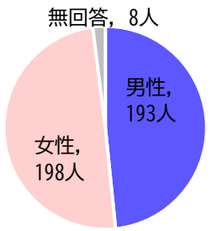
3. 主な調査項目

（1）回答者属性について
（2）第三次雫石町総合計画について
（3）まちづくり・暮らしなどについて
（4）子育てについて
（5）自由記載欄について

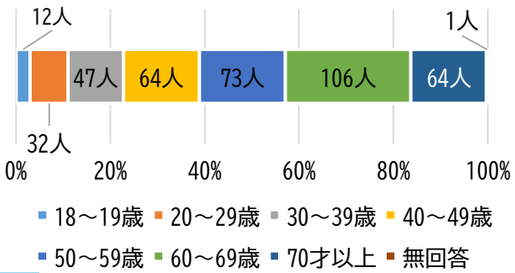
第2章　調査結果

1. 回答者属性

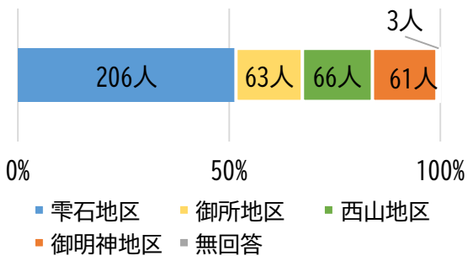
（1）回答者性別



（2）回答者年齢



（3）回答者居住地域



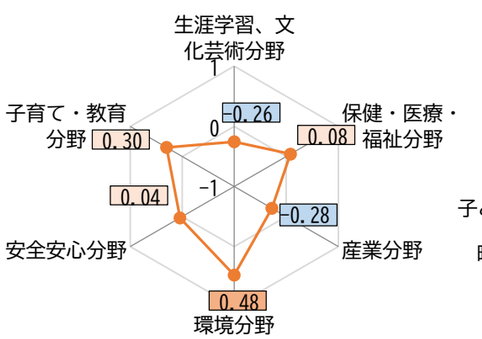
2. 満足度・需要度について

（1）満足度について（全体）

第三次雫石町総合計画の各施策に関連する調査項目の満足度について、平均評定値※1の分野毎の平均をみると、環境分野が最も高い値（0.48）となっており、次いで子育て・教育分野が高い値（0.3）となっている。生涯学習、文化芸術分野と産業分野は、マイナスの値となっており、「満足していない」という意見が過半数を超えている状態となっている。

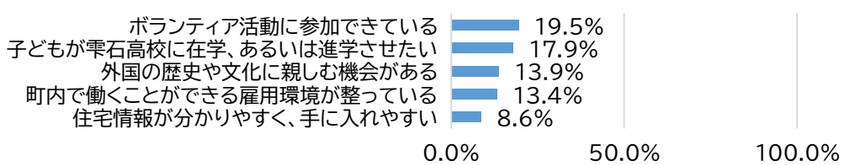
調査項目の満足度について、「そう思う」「まぁそう思う」と回答した人の割合の合計値（満足度割合）についてみると、「水や空気がきれいで、自然が守られている」「子どもは、給食をおいしく食べている」「治安がよく、安心である」の割合が高い一方で、「住宅情報が分かりやすく、手に入れやすい」「町内で働くことができる雇用環境が整っている」「外国語の歴史や文化に親しむ機会がある」に対する満足度が低い状態である。

平均評定値による満足度の比較（分野毎）



満足している割合（項目毎）上位5項目

満足している割合（項目毎）下位5項目



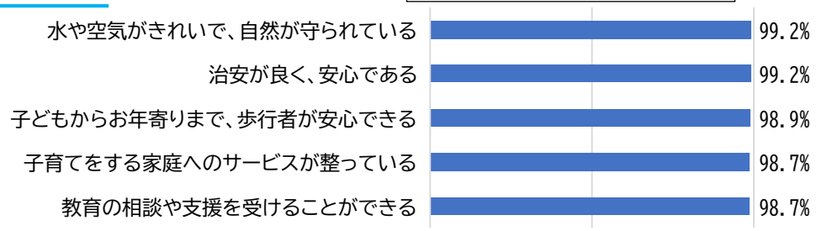
※1　平均評定値…イメージ等、通常は数値的評価することができないものを定量的に評価するため、回答を得点化（「そう思う」を+2点、「まぁそう思う」を+1点、「あまりそう思わない」を－1点、「そう思わない」を－2点、「分からない」を0点に）し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定（好意）的」、逆に－2点に近いほど「否定（非好意）」であり、プラスの数値の場合は肯定的な回答が否定的な回答を上回っている状態を示す。

（2）重要度について（全体）

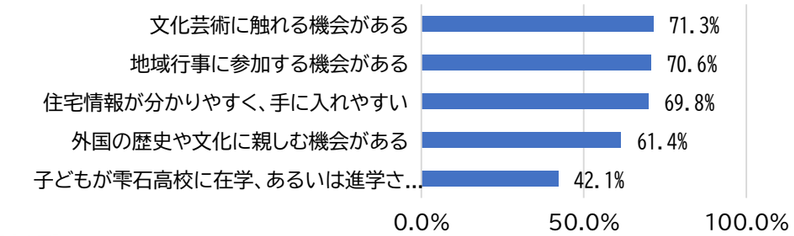
重要度の設問について、「非常に大切である」「大切である」と回答した人の割合の合計値（重要度割合）が高い順にみると、「水や空気がきれいで、自然が守られている」と「治安がよく、安心である」が99.2%と最も高く、次いで「子どもからお年寄りまで、歩行者が安心できる」が98.9%となっているほか、50項目中35項目で90%を超える高い割合となっている。

一方、「子どもが雫石高校に在学している、あるいは進学させたい」は42.1%と最も低くなっており、次いで「学校の歴史や文化に親しむ機会がある」が61.4%となっている。

重要度割合（項目毎）上位5項目



重要度割合（項目毎）下位5項目



満足度と重要度の偏差値※2の散布図について

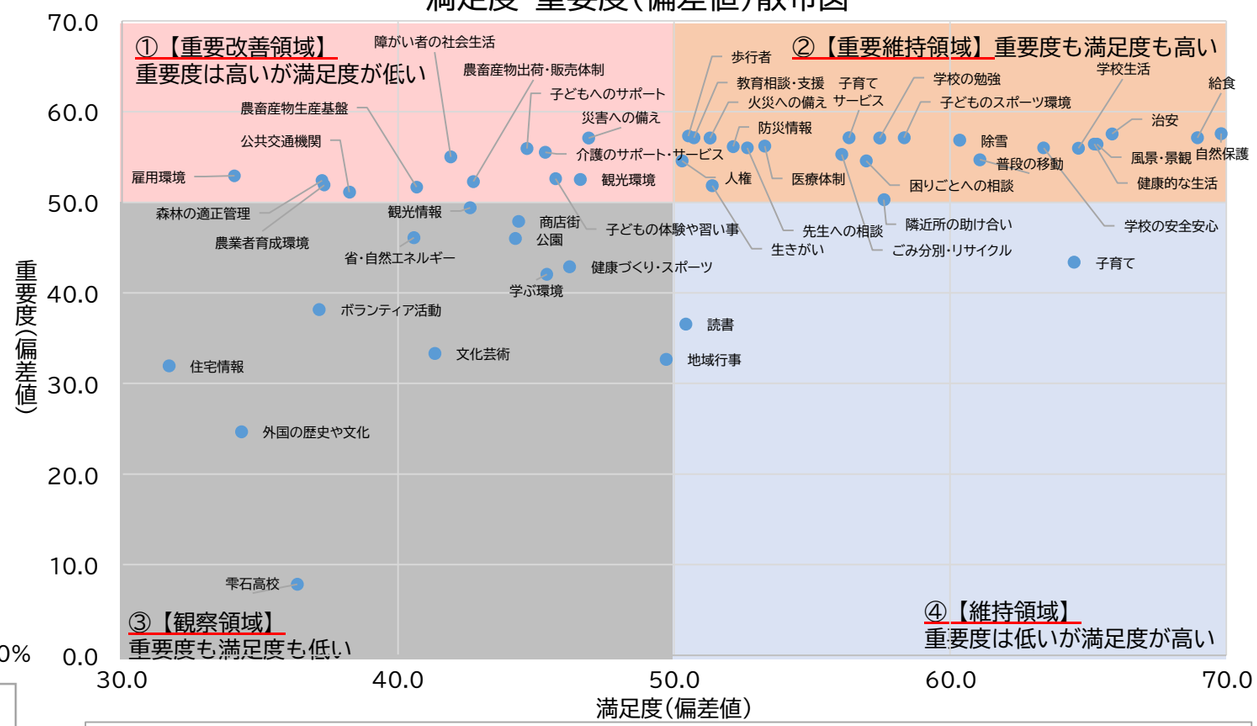
調査項目に対する重要度「そう思う、まあそう思う」、満足度「非常に大切、大切」を偏差値として数値化して、町民の意識においてそれぞれの項目がどのような位置にあるかを表したもの。

①重要改善領域…重要度は高いが満足度が低い領域。
②重要維持領域…重要度も満足度も高い領域。
③観察領域　　…重要度も満足度も低い領域。
④維持領域　　…重要度は低いが満足度が高い領域。

重要改善領域では、優先的に改善に取り組む必要があると思われる一方、観察領域や維持料においては、優先順位をつけながら見直し等が必要。

※偏差値は今回の調査結果内の比較であることに注意が必要であるほか、左下の観察領域にあっても、町として推進する必要性がある場合があり、例えば「省・自然エネルギー」や「雫石高校」の項目のように、町民の意識とギャップがある場合においても注意が必要となっている。

満足度・重要度（偏差値）散布図



※2　偏差値…様々な項目の中でどのくらいの位置にいるかを表す数値で、平均点を偏差値50になるように返還し、その基準からどのくらい高いまたは低い点数だったかを表す数値。

【概要】 令和3年度　雫石町町民意識調査結果

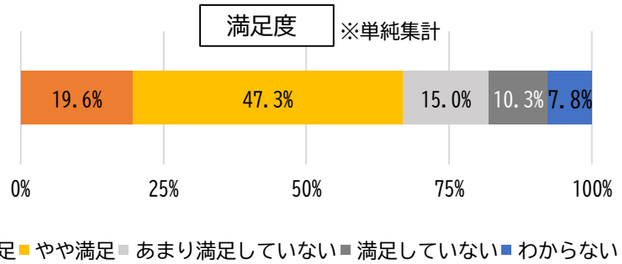
第2章　調査結果

3. 各設問について

第三次雫石町総合計画による各施策に取り組み、協働による住みよいまちづくりを進め、町に愛着を持ち、将来にわたって住み続けたい、今後も子育てしていきたいと多くの町民が思うことが重要であることから関係する設問について記載する。

「まちに愛着がある」について

単純集計では、「満足」「やや満足」の割合は66.9%となっているが、属性別にみると、50歳以上の男性は「満足」「やや満足」が60%を超える一方、40～69歳の女性は「満足」「やや満足」が60%を下回っており、特に18～59歳の女性は「満足していない」としている割合が高い傾向となっている。

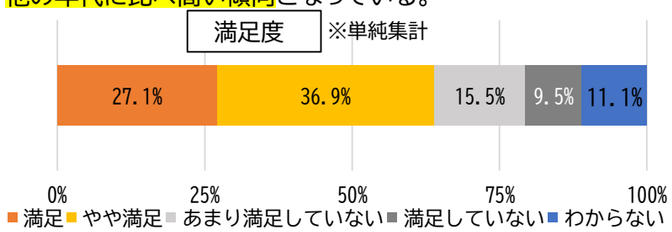


属性別（クロス集計）			満足度			
			満足	やや満足	あまり満足していない	満足していない
性別×年齢別	男性	18～29歳	13.0%	52.2%	4.3%	8.7%
		30～39歳	14.3%	60.7%	0.0%	14.3%
		40～49歳	3.4%	58.6%	24.1%	3.4%
		50～59歳	25.7%	40.0%	17.1%	11.4%
		60～69歳	26.0%	42.0%	10.0%	8.0%
		70歳以上	32.1%	39.3%	14.3%	0.0%
	女性	18～29歳	14.3%	47.6%	4.8%	28.6%
		30～39歳	21.1%	57.9%	0.0%	21.1%
		40～49歳	14.7%	44.1%	20.6%	14.7%
		50～59歳	14.3%	31.4%	22.9%	22.9%
		60～69歳	14.5%	45.5%	21.8%	3.6%
		70歳以上	29.4%	50.0%	14.7%	0.0%

※特徴を捉えやすいように「分からない」「無回答」は非表示としている。

「将来にわたって雫石町に住み続けたい」について

単純集計では、「満足」「やや満足」の割合は64.0%となっており、属性別にみても「満足」「やや満足」の割合が高い傾向にあるが、18～29歳の女性は、「あまり満足していない」「満足してない」としている割合が高く、30～39歳の女性も他の年代に比べ高い傾向となっている。

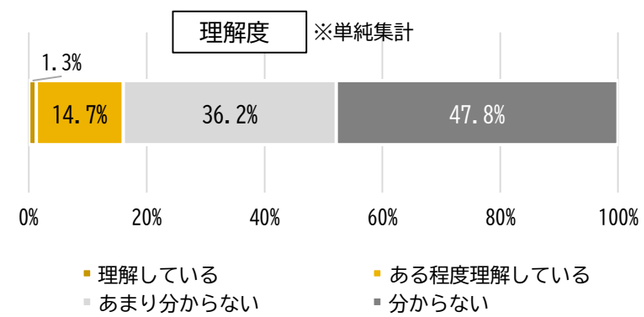


属性別（クロス集計）			満足度			
			満足	やや満足	あまり満足していない	満足していない
性別×年齢別	男性	18～29歳	13.0%	34.8%	4.3%	17.4%
		30～39歳	21.4%	42.9%	14.3%	7.1%
		40～49歳	13.8%	48.3%	24.1%	3.4%
		50～59歳	25.7%	40.0%	17.1%	2.9%
		60～69歳	34.0%	36.0%	12.0%	4.0%
		70歳以上	57.1%	21.4%	10.7%	3.6%
	女性	18～29歳	4.8%	14.3%	33.3%	38.1%
		30～39歳	5.3%	52.6%	10.5%	21.1%
		40～49歳	17.6%	41.2%	14.7%	11.8%
		50～59歳	25.7%	22.9%	17.1%	20.0%
		60～69歳	30.9%	32.7%	16.4%	3.6%
		70歳以上	38.2%	44.1%	11.8%	0.0%

※特徴を捉えやすいように「分からない」「無回答」は非表示としている。

「協働についての理解度」について

単純集計では、「理解している」「ある程度理解している」の割合は16.0%となっており、属性別にみると、男女の全世代において、「あまり分からない」「分からない」が高い割合となっている。

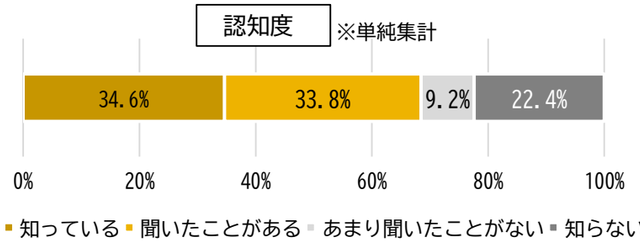


属性別（クロス集計）			理解度			
			理解している	ある程度理解	あまり分からない	分からない
性別×年齢別	男性	18～29歳	0.0%	13.0%	26.1%	60.9%
		30～39歳	7.1%	10.7%	28.6%	53.6%
		40～49歳	0.0%	10.3%	31.0%	58.6%
		50～59歳	0.0%	14.3%	34.3%	48.6%
		60～69歳	0.0%	12.0%	48.0%	38.0%
		70歳以上	3.6%	35.7%	28.6%	21.4%
	女性	18～29歳	0.0%	0.0%	52.4%	47.6%
		30～39歳	0.0%	10.5%	21.1%	68.4%
		40～49歳	0.0%	8.8%	35.3%	52.9%
		50～59歳	0.0%	8.6%	17.1%	62.9%
		60～69歳	0.0%	18.2%	43.6%	36.4%
		70歳以上	2.9%	23.5%	41.2%	29.4%

※特徴を捉えやすいように「無回答」は非表示としている。

「シティプロモーションの認知度」について

単純集計では、「知っている」「聞いたことがある」の割合は68.4%となっており、属性別においても、男女の全世代において、「知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっている。



属性別（クロス集計）			認知度			
			知っている	聞いたことがある	あまり聞いたことがない	知らない
性別×年齢別	男性	18～29歳	26.1%	43.5%	0.0%	30.4%
		30～39歳	35.7%	39.3%	3.6%	21.4%
		40～49歳	24.1%	24.1%	10.3%	41.4%
		50～59歳	22.9%	28.6%	25.7%	22.9%
		60～69歳	36.0%	26.0%	8.0%	28.0%
		70歳以上	28.6%	28.6%	17.9%	17.9%
	女性	18～29歳	28.6%	33.3%	4.8%	33.3%
		30～39歳	52.6%	21.1%	5.3%	21.1%
		40～49歳	38.2%	41.2%	5.9%	14.7%
		50～59歳	25.7%	42.9%	5.7%	20.0%
		60～69歳	40.0%	34.5%	7.3%	16.4%
		70歳以上	52.9%	26.5%	11.8%	8.8%

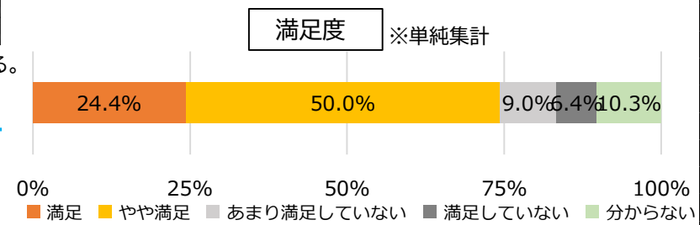
※特徴を捉えやすいように「無回答」は非表示としている。

「今後も雫石町で子育てをしていきたい」について

単純集計では、「満足」「やや満足」の割合は74.4%となっている。

属性別では、男女の全世代にわたって「満足」「やや満足」の割合が高く、特に女性の満足度が高くなっている。

※70代女性の「満足しない」100%は回答者数1名の割合。



属性別（クロス集計）			満足度			
			満足	やや満足	あまり満足していない	満足していない
性別×年齢別	男性	18～29歳	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
		30～39歳	35.3%	35.3%	11.8%	0.0%
		40～49歳	0.0%	60.0%	10.0%	20.0%
		50～59歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		60～69歳	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
		70歳以上	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
	女性	18～29歳	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		30～39歳	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%
		40～49歳	18.8%	56.3%	12.5%	0.0%
		50～59歳	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%
		60～69歳	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
		70歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※特徴を捉えやすいように「分からない」「無回答」は非表示としている。

4. 関係性について（相関※3係数※4）

「町に愛着がある」「将来にわたって雫石町に住み続けたい」「今後も雫石町で子育てをしていきたい」の3項目は強い相関関係にあるほか、「地域行事に参加する機会がある」「隣近所の助け合いができている」「子育てをする家庭へのサービスが整っている」「防災に関する情報をえる手段がある」なども、各項目において「相関関係」がある。

町に愛着を持ち、将来にわたって住み続けたい、今後も子育てしていきたいと多くの町民に思ってもらうために、相関がある項目について満足度を高める取り組みを進めることが有効と考えられる。

※3　相関…一方が変化すれば他方も変化するように相互に関係しあっていること。例えば、「町に愛着がある」と「地域行事に参加する機会がある」とは相関関係にあり、「まちに愛着がある」の満足度が上がれば「地域行事に参加する機会がある」の満足度も上がる関係にある。

※4　相関係数…ある変数の大小がほかの変数の大小に結びついているかという相関関係を分析することによって得られた相関の強さを表す値のこと。因果関係を表すものではなく、２つの変数の関係の強さを表すもの。
相関係数の絶対値　【相関がない】0～0.2　【弱い相関】0.2～0.4　【相関】0.4～0.7　【強い相関】0.7～1

各設問の満足度の相関について（上位５項目）

「町に愛着がある」

項目	相関係数	満足度
将来にわたって雫石町に住み続けたい	0.710	63.9%
今後も雫石町で子育てをしていきたい	0.550	74.4%
地域行事に参加する機会がある	0.375	44.7%
隣近所の助け合いができている	0.354	60.6%
町の情報や手続きが手に入れやすく、分かりやすい	0.342	29.0%

「将来にわたって雫石に住み続けたい」

項目	相関係数	満足度
今後も雫石町で子育てをしていきたい	0.724	74.4%
町に愛着がある	0.710	66.9%
子育てをする家庭へのサービスが整っている	0.406	58.0%
地域行事に参加する機会がる	0.339	44.7%
隣近所の助け合いができている	0.323	60.6%

「今後も雫石町で子育てをしていきたい」

項目	相関係数	満足度
将来にわたって雫石町に住み続けたい	0.724	67.1%
町に愛着がある	0.550	69.6%
子育てをする家庭へのサービスが整っている	0.446	57.0%
防災に関する情報を得る手段がある	0.343	44.9%
人権が尊重され、一人ひとりが大切にされている	0.319	48.1%